

統計調査ニュース

令和2年（2020年）6月

No.403



新型コロナウイルスと国勢調査

トランスコスモス・アナリティクス株式会社 取締役フェロー
令和2年国勢調査有識者会議構成員

萩原 雅之

新型コロナウイルスは、あらゆる社会活動に影響を与えています。基幹統計も例外ではなく、今年の厚生労働省「国民生活基礎調査」が中止になりました。1年の空白ができるのは時系列の分析や政策評価には大きな痛手ですが、調査票の配布回収を行う現場の保健所や福祉事務所の多忙が理由と聞けば致し方ない決定かもしれません。

流行のピークは過ぎたように見えますが、完全終息の時期はまだまだ不透明です。秋に予定される国勢調査でも、自治体の運営体制や調査員の確保、家庭訪問時の玄関先でのやり取りに制約が加わる可能性はゼロではありません。このような困難な状況の中でも国勢調査の品質を維持するためには、オンライン回答推進がますます重要となるはずで

私は国勢調査有識者会議に2010年調査から参加させていただき、民間調査会社で市場調査の仕事が長いので、実査環境変化への対応、オンライン回答の推進、回収率の向上のた

めの具体的施策を考えるのが役割と考えています。

基幹統計における質問紙調査のオンライン化は各省庁とも推進していますが、国勢調査の質問票は非常によく出来ています。2015年調査では全世帯の約37%がネットで回答しましたが、システムは堅牢で大きなトラブルありませんでした。事後調査のアンケートでもオンライン回答者のほとんどが「次回もオンラインで」と高く評価しています。

今回は、まずオンラインでの回答を依頼、未回答者へ調査票を渡す方式が採られました。高いオンライン回答率はそのお陰もありますが、自治体からは管理上の負担が大きいとの意見も寄せられ、今回はオンライン回答用のIDと紙の調査票を同時に配布し、都合の良い方を選べる方式に変更されています。オンライン協力率を下げる要因にもなりますから、回答者の気持ちを理解し自主的にオンラインに協力する環境を作ることが大切なのです。

多くの国民がオンラインショッピングを行い、銀行や小売店頭ではタブレット入力なども普及しています。入力や質問回答の経験値が上がっており、告知や使いやすさの向上次第でオンライン回答率を上げることは可能です。4月に厚生労働省がLINE社と組んでLINEユーザー8300万人を対象に実施した生活行動や体調を尋ねる調査では、任意の協力にもかかわらず48時間で約2450万人が回答して関係者を驚かせました。

ただ、従来のような広報や広告、ポスターだけでは限界があるのも事実です。LINEやYahoo! JAPANなど国民生活に欠かせないオンラインサービスの協力を依頼するのも一案でしょう。官庁や自治体でなかなか進まなかったデジタル化が新型コロナウイルスによって促進したのは皮肉ではありますが、これを改革の機会として、国勢調査を始めとする基幹統計のオンライン化を一層推進してほしいと思います。

目次

新型コロナウイルスと国勢調査	1	2019年度統計研修の実施状況	7
令和2年国勢調査 広報について	2	「統計データ分析コンペティション2020」を開催中です！	
令和2年国勢調査のオンライン調査について（その1）	4	／「明日への統計2020」を御活用ください	8
令和3年経済センサス - 活動調査の実施に向けて（その1）	5	とうけい通信③	9
家計調査（貯蓄・負債編）2019年（令和元年）平均結果の概要	6		

令和2年国勢調査 広報について 国勢調査実施周知ポスターの御紹介

日本に住む全世帯参加の
国勢調査はじまります。

5年に1度の日本で最も重要な統計調査「国勢調査」を、
2020年(令和2年)10月1日現在で実施します。
「日本に住む人や世帯」について知ることで、
生活環境の改善や防災計画など、わたしたちの生活に
欠かせない様々な施策に役立てられる大切な調査です。
みんなで参加して、みんなで日本の未来をつくっていく。
100年目の「#みんなの国勢調査」、
9月14日からインターネット回答がはじまります。



Let's Join!!

#みんなの国勢調査



調査書類をお届けします

インターネット回答期間

9/14 月 → 10/7 水

調査票(紙)での回答期間 10/1(木) → 10/7(水)

かんたん便利なインターネット回答

かんたん 安心・安全 エコ＆簡単

国勢調査2020
<https://www.kokusei2020.go.jp/>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

国勢調査の結果は、国民共有の統計データを形成し、社会の持続的な発展を支えます。国際社会全体で取り組む「持続可能な開発目標(SDGs)」の基盤情報としても活用されています。

⚠ 国勢調査をよそおった詐欺(さぎ)や不審な調査にご注意ください。

国勢調査2020

総務省統計局・都道府県・市区町村

令和2年国勢調査では、国民的人気者である芦田愛菜さんが、ナビゲーターとして国勢調査の理解促進を図ります。

また、要潤さん、川栄李奈さん、デーブ・スペクターさんが、スマートフォンやパソコンからかんたんにできるインターネット回答を推進します。

国勢調査2020

「国勢調査サポーター企業・団体」を募集しています



令和2年国勢調査の実施に当たって、日本に住む皆様に効果的な周知を行うため、社員や従業員等への調査回答の促進やインターネット回答の推進など、国勢調査の支援活動を実施いただける企業・団体を募集しています。

国勢調査の結果は、国民共有の統計データを形成し、社会の持続的な発展を支えるものであることから、企業・団体の社会貢献活動（CSR）などと協働・連携した取組を経済団体や業界団体を通じてお願いしているところです。

支援活動を実施していただく企業・団体については、「国勢調査サポーター企業・団体」として、国勢調査2020総合サイトで紹介します。

国勢調査の支援活動(例)

- ◆ 調査期間又はその直前の時期に、社内や独身寮等の施設において国勢調査のポスターを掲示する。
- ◆ イン트라ネット、電子メール、朝礼、社内放送等を通じて、社内及びグループ企業内の社員・従業員に対し、国勢調査の回答を励行・促進する。
- ◆ ビル又はフロアのエントランス等のデジタルサイネージやモニターで国勢調査の画像又は動画を表示する。
- ◆ 店内等で、国勢調査の広告の掲示、画像・動画による周知を行う、又は広報用音源を放送する。



国勢調査2020キャンペーンサイト

<<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020campaign/>>



令和2年国勢調査のオンライン調査について(その1) —インターネット回答を推進します—

1 オンライン調査について

令和2年国勢調査では、前回に続きオンライン調査を全国展開します。スマートフォンやパソコンからインターネット回答が可能です。

二次元コードや検索サイトからの入力による国勢調査のオンライン調査システムへのスムーズなアクセスができるようにするほか、インターネット回答に必要なログインID等の入力桁数の短縮などの改善を施して回答者の利便性向上を図り、インターネット回答を積極的に推進します。

インターネット回答率について、確実な実現を目指す管理目標(必達目標)を前回調査実績(約37%)を超える40%に設定しつつ、より高い成果を目指して50%のチャレンジ目標を設定しています。

2 インターネット回答の方法

調査員が配布する『調査書類収納封筒』に封入されている『インターネット回答利用ガイド』を用意します。

① アクセスする

『インターネット回答利用ガイド』に記載している二次元コードをスマートフォンで読み取るか、又はパソコンで検索サイトから、「国勢調査オンライン」を検索し、国勢調査オンラインへアクセスします。

② ログインする

国勢調査オンラインのログイン画面で『インターネット回答利用ガイド』に記載しているログインID・アクセスキーを入力します。

③ 回答する

画面の案内に沿って回答(全16問)を入力します。最後にパスワードを設定し、送信して終了です。

3 オンライン調査の利点

オンライン調査には、次のような利点があります。

○ 未記入の防止

インターネット回答時に入力内容のチェックを行うため、未記入がなくなります。

○ 審査事務の減少

インターネット回答時に入力内容のチェックを行うため、職業・産業のフリー記入欄以外の審査は不要です。

○ 調査コストの削減

調査で取り扱う紙の量を減らし、調査票の郵送・運搬に係る費用の削減やCO₂排出量を抑制します。

4 オンライン調査で用いる画面の紹介

※実際に使用されるものは、以下の画面とは若干異なる場合があります。

◇ 国勢調査オンライン トップページ

アクセスしたときに最初に表示されるページです。

<スマートフォン>



<パソコン>



※ みらいちゃんは、インターネットによる回答を促進するためのイメージキャラクターとして、総務省統計局が実施する様々な調査を応援しています。

令和3年経済センサス-活動調査の実施に向けて(その1) -実施に向けた検討-

総務省及び経済産業省では、来年6月に令和3年経済センサス-活動調査を実施します。経済センサス-活動調査は、全ての産業分野における事業所・企業による経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにする経済構造統計(基幹統計)の作成を目的とする「基幹統計調査」です。この調査は、平成24年に初めて実施して以降、原則5年ごとに実施することとしており、令和3年経済センサス-活動調査(以下「令和3年調査」という。)は、前回の平成28年調査に続く3回目の実施となります。

本号では、令和3年調査の実実施計画の策定に向けた検討経過について紹介します。

【令和3年調査に向けた主な検討課題】

令和3年調査の実施に向けて、以下の課題について、検討を行いました。

- 公的統計の整備に関する基本的な計画(平成30年3月6日閣議決定)を踏まえた、公営事業所(国及び地方公共団体の事業所)の把握の充実
- 個人経営の経理事項は原則として確定申告の科目に限定する等の調査事項の簡素化やスマートフォンに対応した電子調査票の導入による回答率の向上・改善
- 統計改革推進会議最終取りまとめ(平成29年5月19日統計改革推進会議決定)を踏まえた、サービス分野の生産物分類による副業の生産構造の正確な把握
- 調査員調査と直轄調査の区分についての見直し
- インターネット回答の推進に向けた事務の見直し

【令和3年調査の実実施計画の検討・検証】

上記課題について対応すべく、外部有識者を交えた研究会における議論や、地方公共団体との意見交換、企業ヒアリング、試験調査等の結果を踏まえつつ、令和3年調査の実施に向け、実施計画の検討を行いました(検討・検証のスキームについては下図参照)。

①外部有識者を交えた研究会における検討

調査内容、調査方法、集計事項等の改善や調査の在り方について検討するため、専門的知見を有する外部有識者を交えた研究会を平成30年8月から計6回開催し、試験調査による検証結果等も踏まえつつ、実施計画について具体的な検討を行いました。

②企業ヒアリング及び地方公共団体との意見交換等の実施

実施計画の作成に当たっては、調査の円滑かつ適切な実施等を図る観点から、企業ヒアリングによる調査事項の把握可能性の事前確認等を行うとともに、調査実務を担う地方公共団体との意見交換や集計等業務を行う統計センターとの検討を随時行いつつ、検討を進めました。

③試験調査による検証

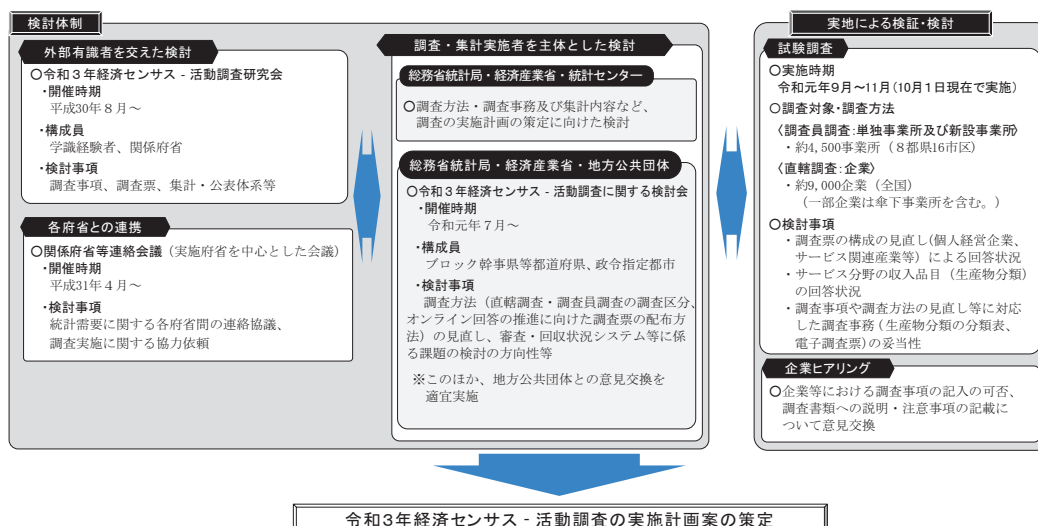
令和3年調査では、サービス分野の収入品目についての生産物分類の適用、調査事項・調査票構成の見直し、新設事業所に対するインターネット回答ログイン情報の通知事務等調査員事務の変更等を行うことから、令和元年9月から11月にかけて試験調査を実施し、これら変更に伴う回答状況や調査実務上の問題点の確認など、変更計画の妥当性について検証を行いました。

上記の検討・検証結果を踏まえ、令和3年調査においては、①国及び地方公共団体の事業所に対する調査の新設、②約9万の民営事業所に対する調査を調査員調査から直轄調査^(注)に移行するなどの調査区分の見直し、③個人経営の調査事項の簡素化やサービス産業における副業の正確な把握等の観点からの調査事項・調査票構成の見直し等を内容とする実施計画を策定しました。

(注) 調査員を介さず、民間事業者等を活用し、郵送・オンラインにより、報告者に対して調査票の配布・回収を実施する調査

※ 実施計画については、現在、承認申請中(統計委員会において審議中)です。

令和3年経済センサス-活動調査の実実施に向けた検討・検証(イメージ図)



家計調査（貯蓄・負債編）2019年（令和元年）平均結果の概要

家計調査では、世帯の収入や支出のほかには貯蓄・負債の保有状況を調査しています。この度、貯蓄・負債編の2019年（令和元年）平均結果を2020年5月15日に公表しましたので、その概要を紹介します。

貯蓄現在高は1755万円で、前年に比べ0.2%増加し、3年ぶりの増加

二人以上の世帯における2019年平均の1世帯当たり貯蓄現在高（平均値）は1755万円で、前年に比べ3万円、0.2%の増加となり、3年ぶりの増加となりました。（図1）

貯蓄現在高階級別の世帯分布をみると、平均値（1755万円）を下回る世帯が約3分の2を占めています。また、貯蓄保有世帯を二分する中央値は、1033万円（前年1036万円）となりました。（図2）

図1 貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）

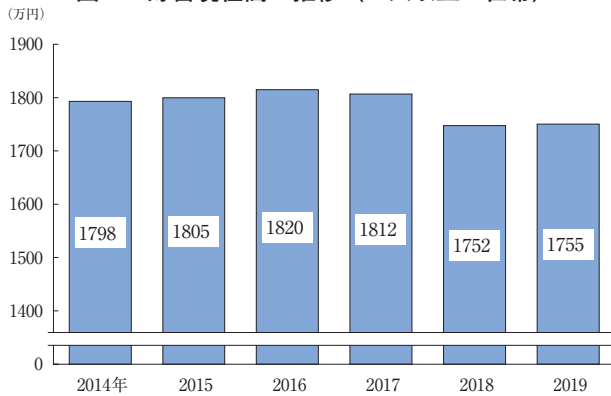
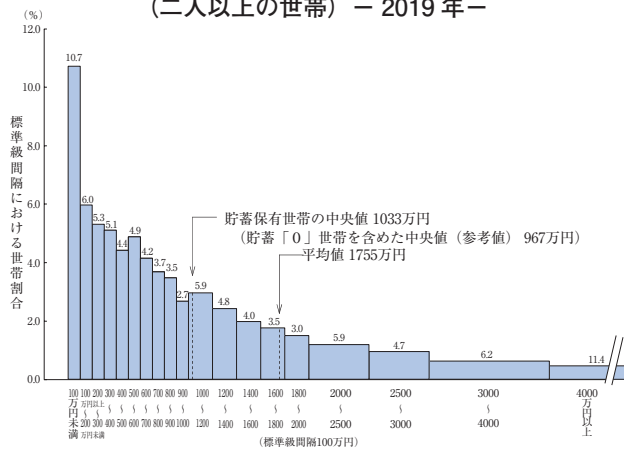


図2 貯蓄現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯）－2019年－

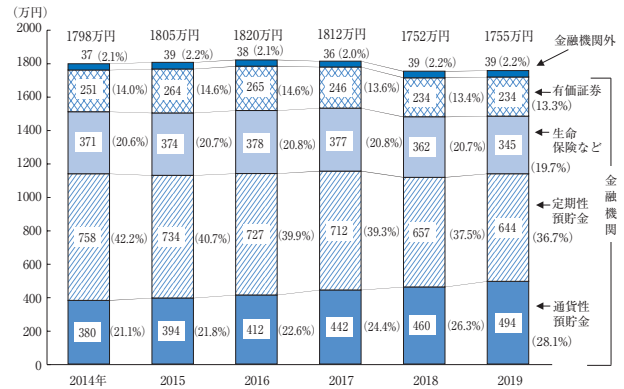


注) 貯蓄保有世帯の中央値とは、貯蓄現在高が「0」の世帯を除いた世帯を貯蓄現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。

通貨性預貯金は11年連続の増加、定期性預貯金は5年連続の減少

二人以上の世帯について貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高の推移をみると、通貨性預貯金は、前年に比べ34万円、7.4%の増加となり、11年連続の増加となりました。一方、定期性預貯金は前年に比べ13万円、2.0%の減少となり、5年連続の減少となりました。（図3）

図3 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比の推移（二人以上の世帯）



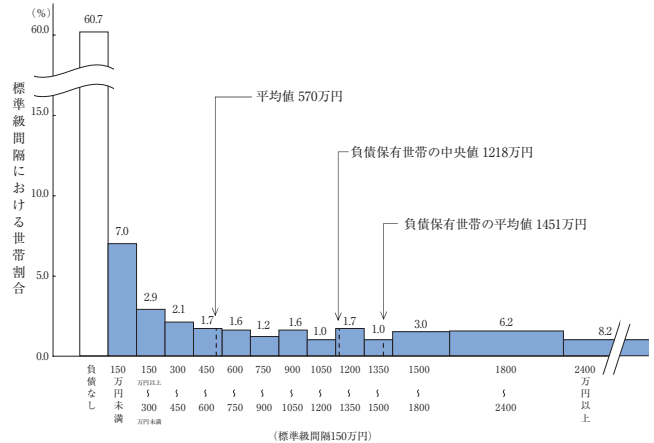
注) ()内は、貯蓄現在高に占める割合

負債現在高は570万円で、前年に比べ2.2%の増加

二人以上の世帯における2019年平均の1世帯当たり負債現在高（平均値）は570万円で、前年に比べ12万円、2.2%の増加となりました。また、負債の種類別負債現在高をみると、負債現在高の約9割を占める住宅・土地のための負債は518万円で、前年に比べ17万円、3.4%の増加となりました。

二人以上の世帯に占める負債保有世帯の割合は約4割となっており、その内、負債現在高の平均値（1451万円）を下回る世帯が約5割を占めています。また、負債保有世帯を二分する中央値は、1218万円（前年1147万円）となりました。（図4）

図4 負債現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯）－2019年－



注) 負債保有世帯の中央値とは、負債現在高が「0」の世帯を除いた世帯を負債現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の負債現在高をいう。

2019年度統計研修の実施状況

2019年度の統計研修は、統計的思考力やデータ分析力を身につけるコースである「本科(総合課程)」を始めとして、「統計入門課程」、「統計基本課程」、「統計専門課程」及び「特別コース」の各課程を実施しました。

新たな取組として、集合研修では新規に特別コースの「データサイエンス実践」及び「マイクロデータを使う前に」を開講しました。また、オンライン研修では、希望者全員が受講可能となるよう環境の整備を行ったほか、「統計データのできるまで」を2分割し、より受講しやすい形にしました。

2019年度の修了生数は、集合研修、オンライン研修を含め6,671人となり、昨年度(3,609人)を大きく上回りました。研修課程別の修了生数は、次表のとおりです。

2019年度 統計研修修了生数

研修課程		研修期間 ^(注1)	修了生数					
			計	国の機関 ^(注2)	都道府県	市区町村	政府関係機関	
統計入門課程	統計実務者向け入門	5月	5月15日(水)～5月16日(木)	57	30	12	13	2
		6月	6月11日(火)～6月12日(水)	56	19	18	16	3
		11月	11月7日(木)～11月8日(金)	38	20	12	6	0
		1月	1月16日(木)～1月17日(金)	55	33	13	7	2
	統計利用者向け入門	5月	5月23日(木)～5月24日(金)	58	24	18	13	3
		6月	6月13日(木)～6月14日(金)	56	26	13	14	3
		11月	11月14日(木)～11月15日(金)	37	16	8	13	0
		12月	12月17日(火)～12月18日(水)	34	23	1	10	0
	【オンライン研修】 初めて学ぶ統計	2月	2月13日(木)～2月14日(金)	55	28	9	17	1
		6月	6月1日(土)～6月30日(日)	1,281	564	256	403	58
9月		9月1日(日)～9月30日(月)	701	322	138	231	10	
	12月	12月1日(日)～12月31日(火)	582	330	94	147	11	
統計基本課程	本科(総合課程)		9月10日(火)～12月11日(水)	18	13	5	0	0
	【オンライン研修】 統計データのできるまで ー統計的推測の基礎①ー	6月	6月1日(土)～6月30日(日)	806	403	139	224	40
		9月	9月1日(日)～9月30日(月)	610	347	113	137	13
		12月	12月1日(日)～12月31日(火)	397	232	66	90	9
	【オンライン研修】 統計データのできるまで ー統計的推測の基礎②ー	10月	10月1日(火)～10月31日(木)	587	351	88	133	15
		1月	1月1日(水)～1月31日(金)	352	206	63	75	8
	統計利用の基本		5月29日(水)～5月31日(金)	34	16	12	6	0
	統計分析の基本		6月18日(火)～6月21日(金)	49	32	7	8	2
	経済統計の基本		7月3日(水)～7月5日(金)	25	12	9	3	1
	社会・人口統計の基本		8月6日(火)～8月7日(水)	33	7	15	10	1
調査設計の基本		10月7日(月)～10月11日(金)	22	16	3	3	0	
GISによる統計活用		12月19日(木)～12月20日(金)	42	14	11	17	0	
統計専門課程	人口推計		7月8日(月)～7月12日(金)	22	2	6	14	0
	国民・県民経済計算	6月	6月24日(月)～6月28日(金)	32	2	21	9	0
		8月	8月26日(月)～8月30日(金)	28	6	19	2	1
	経済予測		1月20日(月)～1月24日(金)	13	4	6	3	0
	指数に関する研修ー鉱工業指数を中心にー		6月4日(火)午後～6月6日(木)	25	1	24	0	0
	地域分析		9月24日(火)～9月27日(金)	24	3	13	8	0
	政策立案と統計		2月17日(月)～2月19日(水)	55	25	11	19	0
	政策評価と統計		2月20日(木)～2月21日(金)	40	13	16	11	0
	産業連関表の作成・分析		7月22日(月)～7月26日(金)	45	3	28	12	2
	都道府県統計主管課新任管理者セミナー ^(注3)		4月9日(火)午後～4月10日(水)午前	22	0	22	0	0
標本設計の基礎		7月17日(水)午後～7月18日(木)	26	12	8	5	1	
統計指導者講習会 中央研修		7月29日(月)午後～7月30日(火)	69	0	27	42	0	
特別コース	教育関係者向けセミナー	統計研究研修所	8月2日(金)	14	0	10	4	0
		滋賀大学	8月19日(月)	20	2	9	7	2
	データサイエンス入門		8月21日(水)～8月22日(木)	46	14	20	10	2
	統計オープンデータ利活用		8月9日(金)	30	8	6	15	1
	データサイエンス実践		8月23日(金)	47	20	17	9	1
	マイクロデータを使う前に ーマイクロデータの利用のルールと利活用方法を学ぶー		9月3日(火)	19	2	13	4	0
	データサイエンスセミナー ^(注3)	滋賀大学	9月20日(金)	16	6	5	5	0
	マイクロデータ分析のためのプログラミング ー統計解析ソフトRの利用方法ー		11月26日(火)午後～11月27日(水)	37	18	13	5	1
	ビッグデータ利活用ー基礎から応用までー		1月29日(水)～1月30日(木)	56	29	11	13	3
	合 計			6,671	3,254	1,428	1,793	196

注1)「研修期間」欄の4月から12月までは2019年、1月から3月までは2020年を示す。注2)国の機関には、独立行政法人の職員を含む。注3)受講者数である。

「統計データ分析コンペティション2020」を開催中です!

総務省統計局は、高校生、大学生等の統計の有用性への理解と統計データの利活用拡大のため、独立行政法人統計センター等との共催により、「統計データ分析コンペティション2020」を開催しています。

このコンペティションでは、地域別の統計をまとめた「教育用標準データセット (SSDSE)*」を用いた統計データ分析の論文を募集し、そのアイデアと解析力を競うことで、高校生や大学生等の統計リテラシーの向上を図ります。

皆様、奮って御応募ください。

※ SSDSE は、データサイエンス教育のための汎用素材として作成・公開している統計データです。



応募資格

【高校生の部】

高等学校及び高等専門学校（1～3年次）の生徒

【大学生・一般の部】

短期大学、高等専門学校（4,5年次、専攻科）、
大学、大学院の学生及び一般（統計分析等の学習を目的とする方）

募集期間

○エントリー期間

令和2年5月1日（金）～8月11日（火）

○論文の提出期限

【大学生・一般の部】 令和2年9月1日（火）

【高校生の部】 令和2年9月10日（木）

表彰

審査の結果、優秀な論文には表彰状及び副賞を授与します。

詳細はこちらから⇒ <https://www.nstac.go.jp/statcompe/>

「明日への統計2020」を御活用ください

総務省統計局では、統計調査の円滑な実施と結果の利活用を推進するため、総務省統計局が実施する統計調査結果を分かりやすくまとめた冊子「明日への統計」を毎年作成しています。

この度、「明日への統計2020」を作成しましたので、是非御活用ください。



「明日への統計2020」は、以下の3分野について、紹介しています。

特集「令和2年国勢調査」

明治大学政治経済学部 加藤久和教授の解説、調査の概要のほか、調査開始から100年目を迎えることにちなんで、第1回調査が開始された1920年からの移り変わりや現在との比較を紹介。

調査結果からわかること

我が国の社会・経済の状況について、図表やイラストを多用し、より視覚的に分かりやすく紹介。

統計情報の利用について

総務省統計局で進める統計利活用に関する取組等を紹介。

世帯等へ調査を依頼する際の説明資料や、学校の授業等幅広く御活用いただくとともに、一人でも多くの皆様の統計調査への理解を深めていただく一助となれば幸いです。

総務省統計局ホームページからも御覧になれます。
<https://www.stat.go.jp/info/guide/asu/2020/index.html>

とうけい通信③

「新みやざき統計BOX」の開発,公開について

宮崎県総合政策部統計調査課

「新みやざき統計BOX」について

宮崎県では、令和2年4月に統計データを提供するWEBページ「みやざき統計BOX」のリニューアルを行いました。これまでの「みやざき統計BOX」は、主に統計データをダウンロードする機能を提供するページでしたが、今回のリニューアルにより、いろいろな統計データをグラフ化する事が可能となりました。また、統計データは宮崎県だけでなく全国のデータを取り扱っていますので宮崎県のみならず全国のグラフを作成可能です。

【「みやざき統計BOX」URL】

<https://stat.pref.miyazaki.lg.jp>

開発について

これまでの「みやざき統計BOX」は、統計データをダウンロードするだけで可視化する機能等がありませんでした。そのため、開発に当たっては使用者がデータに手軽に触れて、各自でデータの意味等を考えることを促すシステムを求めました。

また、データを見る際には、宮崎県だけでなく他自治体と比較した方が、客観的にデータを見ることができるとの考えから、全国の自治体のデータをグラフ化することも開発要件としました。

これらの条件を満たす開発は、全国的に例のないものであり、通常の発注方法では要求を満たすことができないと判断しました。そこで極めて独自の手法を採用することとしました。

手法の一つ目ですが、試作品(プロトタイプ)をGithub上で公開した上でプロポーザルを行いました。これまでの自治体の発注は仕様書のみで仕様を示すスタイルであり、紙面だけで細かい内容を指示していました。そのため、本当に実現したい機能等が受託業者に伝わらず結果的に当初の理想と異なるものが完成してしまう可能性があります。そこで、誰の目にも明らかな実際に動作するプロトタイプを示すことにより、受託業者にこちらの意思・要望を確実に伝えることを考えました。

二つ目として、アジャイル開発(短期間でプロトタイプ作成と検証のサイクルを繰り返す手法)の考えを取り入れました。これまでの手法では受託業者から「実際に動作するもの」が発注者に提示されるのは業務の後半の方になってしまいます。そのため、意に反して予想と違う「もの」が提示されてしまった場合、後戻りできない状況に陥る懸念があります。これを防ぐためにプロトタイプ作成と検証を繰り返す「アジャイル開発」の手法を選択しました。これにより軌道修正が容易になると同時にこちらの意を効率的に伝えることができました。

これらの手法により令和2年4月に無事に完成、公開

にたどり着くことができました。

機能について

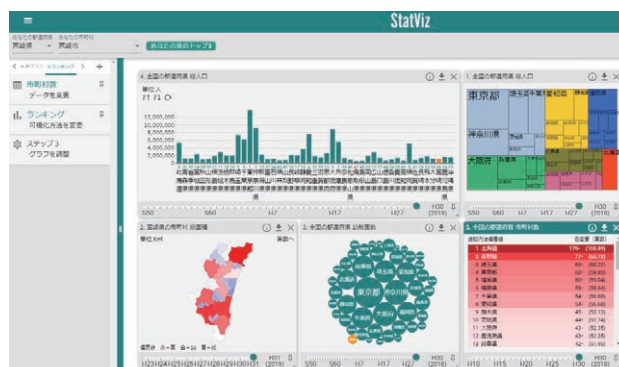
宮崎県では従来から、宮崎県の統計データをまとめた図書を販売しています。「新みやざき統計BOX」では、このうち約300データを取り込んでいます。また、全国の統計データについては統計局の「社会・人口統計体系(SSDS)」を取り込んでいます。このSSDSの取り込みについてはe-StatのAPIを利用しています。API利用により、「新みやざき統計BOX」内に大量のデータを保持させることなく最新のデータをスムーズに取得することが可能となっています。これらのデータを使ったグラフ化の機能は多くありますが、棒グラフを作成する例の操作方法を御紹介します。

- ①左メニューのプラスボタンを押します。
- ②統計データを選択します。「1全国の都道府県」→「基礎データ」→「A人口・世帯」→「総人口」とクリックします。
- ③可視化方法を選択します。「棒グラフ」のアイコンをクリックします。

これで47都道府県の人口がグラフ化されました。さらに下記の操作をしてみましょう。

- グラフ左上の3種類のソートボタンをクリックしてみましょう。昇順、降順、自治体コード順に変化します。
- 棒にマウスを当ててみましょう。吹き出しに順位、数値、偏差値が表示されます。
- グラフ下部のスライダーを左右に動かしてみましょう。昭和50年から平成30年までのデータをスムーズに書き換えていきます。

ダイナミックにグラフが表示、書き換えられていくので、使用者の想像力を喚起させることができるものと思います。上記で説明した機能以外にもたくさんの可視化方法、機能があります。詳しくはページに用意されているチュートリアルを御覧ください。



最近の数字

		人口		労働・賃金			産業			家計(二人以上の世帯)		物価	
		総人口 (推計による人口)		就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
		千人(Pは万人)	万人								%	円	2015=100
実数	2019.12	126,144	6737	2.2	564,886	97.9	33.8	321,380	889,500	102.3	102.2		
	2020.1	P 12602	6687	2.4	275,260	99.8	P 30.2	287,173	395,821	102.2	101.9		
	2	P 12601	6691	2.4	266,706	99.5	P 30.2	271,735	450,124	102.0	101.8		
	3	P 12595	6700	2.5	281,632	95.8	P 35.2	292,214	397,872	101.9	101.8		
	4	P 12596	6628	2.6	P 275,022	P 87.1	...	267,922	428,397	101.9	102.0		
	5	P 12590	P 102.0		
前年同月比	2019.12	-	1.2	* 0.0	-0.2	* 0.2	0.7	-4.8	-1.7	0.8	1.0		
	2020.1	-	0.9	* 0.2	1.0	* 1.9	P 0.3	-3.9	2.3	0.7	0.6		
	2	-	0.5	* 0.0	0.7	* -0.3	P -0.2	-0.3	2.7	0.4	0.4		
	3	-	0.2	* 0.1	0.1	* -3.7	P -7.9	-6.0	0.9	0.4	0.4		
	4	-	-1.2	* 0.1	P -0.6	*P -9.1	-	-11.1	-0.6	0.1	0.2		
	5	-	-		

(注) P：速報値 *：対前月
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値。2019年12月までの前年同月比は、2018年1月に行った調査で使用する家計簿の改正の影響による変動を調整した変動調整値。

掲示板 統計関係の主要日程 (2020年6月～7月)

《会議及び研修関係等》

時期	概要	時期	概要
6月1日	オンライン研修【第1回】統計作成実務コース「統計データのできるまで-統計的推測の基礎②-」開講(～26日)		

《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
6月5日	家計調査(家計収支編：2020年4月分)公表 〃 家計消費状況調査(支出関連項目：2020年4月分)公表 〃 消費動向指数(CTI)2020年4月分公表 〃 小売物価統計調査(ガソリン)2020年5月分公表	7月3日	小売物価統計調査(ガソリン)2020年6月分公表
19日	消費者物価指数(全国：2020年5月分)公表 〃 小売物価統計調査(全国：2020年5月分)公表 〃 小売物価統計調査(構造編)2019年結果公表	7日	家計調査(家計収支編：2020年5月分)公表 〃 家計消費状況調査(支出関連項目：2020年5月分)公表 〃 消費動向指数(CTI)2020年5月分公表
22日	人口推計(2020年1月1日現在確定値及び2020年6月1日現在概算値)公表 〃 統計でみる市区町村のすがた2020 刊行	20日	人口推計(2020年2月1日現在確定値及び2020年7月1日現在概算値)公表 21日 消費者物価指数(全国：2020年6月分)公表 〃 小売物価統計調査(全国：2020年6月分)公表
26日	消費者物価指数(東京都区部：2020年6月分(中旬速報値))公表 〃 小売物価統計調査(東京都区部：2020年6月分)公表	28日	住民基本台帳人口移動報告(2020年6月分)公表
30日	住民基本台帳人口移動報告(2020年5月分)公表 〃 労働力調査(基本集計)2020年5月分公表 〃 サービス産業動向調査(2020年4月分速報及び2020年1月分確報)公表 〃 経済センサス-基礎調査(甲調査速報及び乙調査)2019年結果公表	31日	労働力調査(基本集計)2020年6月分及び2020年4～6月期平均公表 〃 サービス産業動向調査(2020年5月分速報及び2020年2月分確報)公表 〃 家計調査(貯蓄・負債編：2020年1～3月期平均)公表 下旬 経済構造実態調査(2019年二次集計結果)公表

編集発行 **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1
 総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361
 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp
 ホームページ <https://www.stat.go.jp/>
 御意見・御感想をお待ちしております。